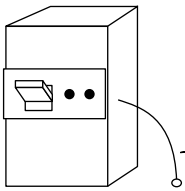


動作後の正しい処置…動作後には点検、修理を工事店様に依頼する。

検出リード線(単3中性線欠相保護付ブレーカ搭載盤の場合)を外したり、ハンドルを繰り返しON-OFFしない。



絶対に 検出リード線を外さない

b.再投入の方法

再投入ができない場合

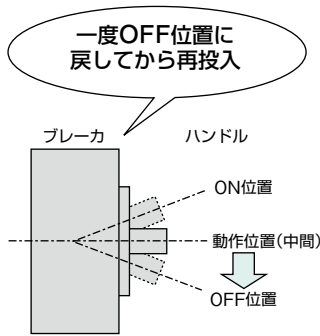
①ハンドルがONとOFFの中間の位置にある時

・一度OFF位置に戻してから再投入する。(右図参照)

ブレーカが動作した場合、ハンドルがONとOFFの中間の位置に止まります。

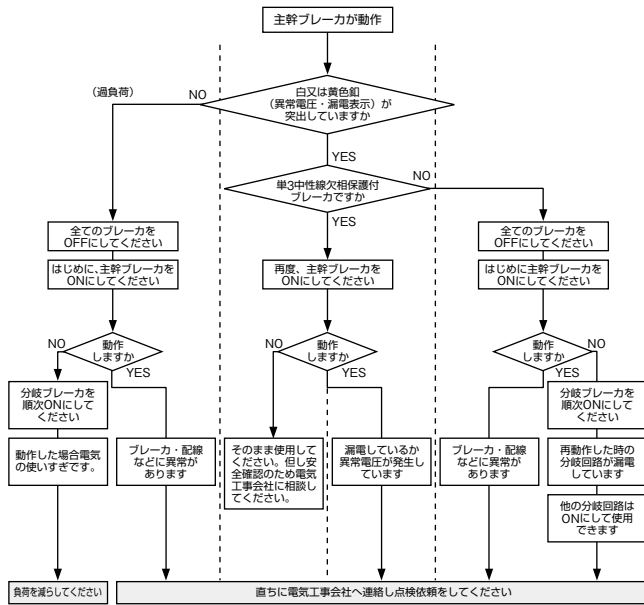
②過負荷動作直後の時

・ブレーカ本体の熱が冷めてからONする。必要に応じ負荷機器の電源をOFFにするなどの処置を行う。

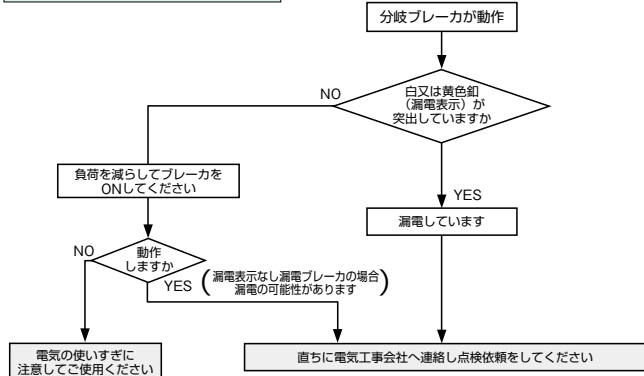


c.ブレーカが動作した場合の復旧手順フロー

主幹ブレーカが動作した場合



分岐ブレーカが動作した場合



3.標準分電盤の特徴

標準分電盤は小型高性能化・環境負荷の軽減・品質向上・短納期など各種市場ニーズに対応しています。

特に、HSB(小型高性能ブレーカ)を使用した盤では

- ・簡単な取り付け、取り外し、電線接続により、施工精度と工事作業効率の大幅な向上
- ・省スペース化により回路増設時のリニューアル用として最適等の特徴があります。

(1)部品の交換や機器の追加

要望事例

①機器・部品の交換、追加

対応・処置

- ①使用機器、取り付け方法が標準化されている。
- ②標準化により交換、追加部品・機器を素早く提供可能です。
- ③各種パーツには品番が刻印されており発注が容易です。(ハンドル、主幹バー、分岐バー等)

(2)仕様の確認や打合せ

要望事例

- ①製品に対する不明点など問合せや相談
- ②過去に納入した標準分電盤の回路変更

対応・処置

- ①仕様、回路等が標準化されていることで、型番を指定いただければ迅速に各種対応が可能です。
- ②標準分電盤では品番を表示しており、過去に納入した盤の仕様が判ります。そのため、適切な機器・部品の選定が可能です。
- ③問合せ窓口が整備され、カタログ等にて仕様が周知されている。

(3)高性能・高性能の要求

a.負荷の焼損防止機能

事故事例

①単相3線式回路で中性線欠相事故の発生、100V機器が焼損

対応・処置

①標準分電盤の電灯回路の主幹は全て単3中性線欠相保護付を使用している。

b.コード短絡による火災の防止機能

事故事例

①コード短絡により火災事故が発生

対応・処置

①小型高性能分電盤に使用するHSB(小型高性能ブレーカ)はコード短絡保護用瞬時機能がついている。

c.盤の小型高性能化要求

事故事例

①トランス近くに設置した電灯分電盤で、分岐回路の短絡事故が発生、分岐ブレーカ(遮断容量1.5kA)で遮断できない。

対応・処置

①小型高性能分電盤の分岐に使用するHSB(小型高性能ブレーカ)は定格遮断容量が2.5kAである。